

## 平成22年 第1回定例会一般質問

○議長 横尾 武志君

1番、益田議員の一般質問を許します。益田議員。

○議員 1番 益田美恵子君

1番、益田美恵子、一般質問をさせていただきます。皆様におかれましては大変お疲れのこととは思いますが、早いうちに終わらせたいと思いますのでよろしく願いいたします。

初めに、町内のナイター設備についてお尋ねいたします。1、ナイター設備がある箇所をお尋ねいたします。2、総合運動公園中央グラウンドにナイター施設整備を、との要望を受けますが、担当課に要望が上がってきたかどうかをお尋ねいたします。

大きな2点目といたしまして、AED（自動体外式除細動器）について。1、町内の設置場所及び設置台数をお願いいたします。2、AEDに不具合が生じているとの報道がなされておりましたが、定期的に保守点検等も行われているのでしょうか、お尋ねいたします。

1回目の質問を終わります。

○議長 横尾 武志君

執行部の答弁を求めます。生涯学習課長。

○生涯学習課長 本田 幸代君

それでは、町内のナイター設備についてということで、要旨1のナイター設備がある箇所を尋ねるとのことでございます。

現在、ナイター設備のある体育施設は芦屋中学校グラウンドと山鹿のテニスコートでございます。

要旨2、総合運動公園中央グラウンドにナイター施設整備を、との要望を受けるが担当課に要望が上がってきたことはあるかということでございますが、この件につきましては、前任の課長にも確認いたしましたが、現在のところ要望はございません。

以上でございます。

○議長 横尾 武志君

総務課長。

○総務課長 占部 義和君

では、2点目のAEDに関してでございます。まず、町内の設置場所及び設置台数についてでございますが、町で把握しておりますのは役場、競艇場、小中学校4校、それから、総合体育館、テニスコート、町民会館、中央、東、山鹿の各公民館、芦屋釜の里、歴史民俗資料館、老人憩いの家3カ所、山鹿、緑ヶ丘の各保育所、マリンテラスあしや、レジャープール、町内の私立保育

所、幼稚園4カ所の合計25台でございます。

次にAEDに不具合が生じているが、保守点検等はされているのかということについてでございます。

確かに昨年の11月には日本光電工業株式会社が輸入販売いたしましたAEDの一部に使用できなくなるという不具合が生じ、同社はいわゆるリコール対応をするとの報道がありました。先ほど報告しました25台のうち、レジャープール、それから私立保育所、幼稚園4カ所の計5台がこの日本光電社製ですが、5台とも即座に業者による点検がなされ、異常なしとの判定を受けております。

その際、日常点検の仕方やセルフテスト機能を改善したソフトウェアへの変更を、本年5月から順次実施する旨の説明を受けております。

また、ほかの20台につきましては日本メドトロニック社が輸入販売した製品でありまして、これにつきましてもやはり一部製品に不具合があることが判明しました。しかし、その時点での業者の点検の結果、本町に納入された20台すべて異常なしとの判定を受けております。

次に、保守点検等についてでございますが、特に定期的な保守につきまして業者委託等はいたしておりません。両社製ともOK、あるいは使用可能、使用不可との表示が出ます。目視が可能ということでございまして、職員等により日常点検で確認いたしておりますし、今後とも徹底していきたいと考えております。

なお、内蔵しているバッテリーの寿命が2年となっておりますので、2年ごとの取りかえを行っておりますし、今後ともその取りかえが必要になってまいります。

機械的なものについては以上ですが、じゃあ、実際緊急の場合にそれを操作するいろんな部署に配置されておる職員、これらに対しまして2年ごとに遠賀郡消防本部が実施しておりますAEDの操作方法を含みます普通救命講習を受講させております。

以上でございます。

**○議長 横尾 武志君**

益田議員。

**○議員 1番 益田美恵子君**

まず、1点目のナイター設備からお尋ねいたします。

現在、設置してある場所、芦屋中学校、それから山鹿テニスコートということでございますが、以前東小学校にも立派な設備がなされておりましたが、これはどのようになっているのでしょうか。

先日、見に行きましたら、4基ですか、立派なものが設置されておりますし、これがどのような状況に現在なっているのか、お尋ねいたします。

○議長 横尾 武志君

生涯学習課長。

○生涯学習課長 本田 幸代君

東小学校のほうにも以前つけておりましたが、老朽化により照明のほうを平成17年度に撤去いたしました。

以上でございます。

○議長 横尾 武志君

益田議員。

○議員 1番 益田美恵子君

老朽化ということですが、その後に——先ほどのご答弁ではナイター施設の要望は上がってないということのお話があったおりましたが、現場の皆様にとってはぜひナイター施設というのが、あったほうが良いというご希望を持っておられます。それは夏場でなくて冬場ということです。私も先日、見に行きましたけれども、土曜日に見に行かせていただいて、いつもグラウンドゴルフで練習に行っていたときに立派なものがあるので、当然ついているものとばかり思い込んでいたものですから、東小学校にもありますよって言ったら、いや、東小学校はもう使われておりませんというお話でございましたので、なぜかなという疑問があったんですが。

上だけを替えるのにどれぐらい予算がかかるのか。また、ある一面においては電気代もかかるからという声もございますけど、この年間どれぐらいの費用がかかるのか、お尋ねいたします。

○議長 横尾 武志君

生涯学習課長。

○生涯学習課長 本田 幸代君

現在、芦屋中学校のほうにナイター照明つけております。期間的には4月から10月までの7カ月間でございますけど、電気代が100万から130万かかっております。

以上です。

○議長 横尾 武志君

益田議員。

○議員 1番 益田美恵子君

確かに電気代がかかることは当然でございますが、総合グラウンドにおいてナイター施設の整備をぜひ、設置してほしいという要望が、私も以前も聞いたことがありますし、取り上げたことはなかったんですが、担当のほうには以前申し入れ——口頭ですけれども、あったらいいですねというお話がありますとお伝えはしていたんですが、このたびまた少年野球とか、サッカーをなさっている方の父兄の方ですけれども、ぜひ、ナイター施設を整備してほしいというご要望があ

りました。

それはなぜかといえば、冬場は今は5時半ぐらいから暗くなります。練習開始時間っていうのは5時半ぐらい、早くて5時半ですね。芦屋町に勤務されている監督さんがいらっしゃる方であれば5時半からということをございましょうが、よそからお出でになる方であれば、もう6時から開始ということになるかと思えます。もう開始時間から既に暗いというのが現状なんです。それが5時半から7時半ぐらいまで練習をやっておりますということなんですね。

まず、練習の様子、また、その時間帯で暗くなったところをごらんになったことがありますか、お尋ねします。

**○議長 横尾 武志君**

生涯学習課長。

**○生涯学習課長 本田 幸代君**

この件につきましては、ほかのチームからお話しがございまして、一度、山鹿小学校のほうにのぞいたことはございます。

**○議長 横尾 武志君**

益田議員。

**○議員 1番 益田美恵子君**

残念ながら、私はたまたま先日見に行ったときには犬の訓練の準備がなされておまして、総合体育館のほうでは練習がなされておらずで、東小学校を見に行ったときに、この中央グラウンドで練習をされている野球部の父兄の方にお会いすることができました。

その中で、本当にとっても練習する時間が冬場が短いということのお話の中で、何かご自分たちで購入されて、それで簡易的なものでしょうけれども、何基か、2基か3基ぐらい置いて、ちょっと明るくして7時半ぐらいまでやっておりますということなんです。その中で薄暗いわけですからボールが跳ねかえって監督さんの目にあたったこともあるんです。やっぱり子どもたちは心身ともに鍛えるためにそういった――監督さんもまた、ボランティア的な存在の方たちが一生懸命子どもの育成のために頑張っているわけでございますので、お金が確かにかかることではありますけれども、やはり育成するという上においては何らかの形をとる必要性があるのではないかと、このように考えるんですけど、教育長、どのようにお考えでしょうか。

**○議長 横尾 武志君**

教育長。

**○教育長 中島 幸男君**

少年のスポーツに対しましては、いろんな種目がありまして、それぞれ指導者の皆様方が子どもの健全育成という観点からご指導賜っている。大変感謝しておりますし、ありがたいことだ

あとっております。

指導者の考え方にはいろいろございまして、確かに健全育成っていうか、スポーツを通して体を鍛えましょうというレベルの監督さんとか、試合に勝とうというチャンピオンスポーツを目指す監督さんなど、いろんなタイプがありますから、そのことについてはそれぞれの監督さんのお考えでしょうし、そのチームの方針だと思いますから、そのことについては私たちがとやかく言う話じゃないと思っています。

ただ、一般的な考え方といたしましては、私は子どもたちがしっかり鍛えて、そのことによって、いわゆるバーンアウトといいますか、燃え尽き症候群。もうくたびれたと。で、中学校ぐらいになるともうやめたという子どもたちもたくさんいます。もっと悪いのは、鍛えすぎることによって体に故障を起こす、スポーツ障害を起こすという子どもたちもいろんな面が出てきております。こういうのは大変困るなど。

ですから、スポーツは本当に好きになって、大きくなっていわゆる生涯スポーツにつなげるような指導であってほしいと、これはもう一般論として私は常に思っております。

そこで、やはり楽しいスポーツ活動、楽しい体育をぜひやっていただきたいという思いがいっぱいあります。

そういうのを前提にいたしまして、ナイターを——冬場のスポーツ、特に冬ですね。冬の5時半から7時ぐらいの練習というときに確かに暗うございますから、今、それぞれ総合運動公園、それから山鹿でも簡単な照明施設をつけてやっぴらっしゃいますから、おっしゃるとおりに薄暗いといえば薄暗い。どのぐらいの照度があればできるか。サッカーと野球では全然違いますから、その照度に対応できるようにするっていうのは、なかなか難しいところがあります。

私は冬場のスポーツに、ずっと年間を通して野球なら野球ばかりやる、サッカーならサッカーばかりやるということについては、私としてはそうであってほしくないと思っています。いろんなスポーツを取り入れる中で、子どもたちがバランスの取れた体づくりをやっていただきたい。そして、その中でそれぞれのスポーツの楽しさを味わっていただければと思っています。

そういう意味で、現在のところ、行政として確かにいろんな要望はあるんだろうと思いますけれども、ナイター施設を今はつけなくておいてもいいのではないかという考えでおります。

以上です。

○議長 横尾 武志君

益田議員。

○議員 1番 益田美恵子君

確かに野球、また、サッカーだけを重視しているわけではございませんが、現在、要望が上がっているのが、そういった中の方々からのご要望であるということをご認識していただきたいなど

思います。

それから、今、おっしゃったようにやはりあらゆるいろんなスポーツを通して心身ともに鍛えていっていただきたいという思いがおりだと思っておりますが、やはり子どもたちは嫌いなものはやっぱりやらないですね。途中でやめていたり、好きだからこそ続けられるというものもありますし、町長の施政方針を後で述べさせていただきますが、やはり学校教育の中でも芦屋の子どもは芦屋で育てるといふ、今方針がございますよね。その中でやはり未来を担っていく人材である。少年野球、サッカー、いろんな剣道もあれば、柔道もあります。剣道とか柔道とかいうのは室内の中でやりますから明るいところでの練習はできるわけでございますが、冬場においての少年野球、サッカー、また外でやるスポーツであれば、どうしても短時間の練習で終わってしまう。

そういった子どもを芦屋町で育てようという、地域も一体となってという思いがあるわけですから、まして、子どもは私たちが将来の高齢社会を支えていく子どもたちが心身ともにこれは育っていく環境づくりをしていくのも行政の立場から必要なことではないか。このように私は考えるわけございまして、ぜひできることであればという、そういった気持ちを持っております。

この点については、町長の施政方針の中でお聞かせいただきたいと思っておりますが、重要課題の中に二つ目にコミュニケーションづくり、地域などにおける人づくりではないかという、その下の中に22年度における重要施策についてという項目がございますが、第1点目は芦屋町を支えていく人づくりです。リニューアルオープンした町民会館の大きな意義は、2階に設置するボランティア活動センターによって町を支えていく人材発掘と育成、とあります。

そこで私が思い起こすことが一つあるんですが、一度この本会議でも取り上げたことがあります。我が町の子は我が町で育てるといふ福祉の充実で祝い金制度をつくった地域があるんです。その中でご両親がやはり子どもたちにみんな子どもは我が町で育てて、我が町から送り出していくという方針をとっていると常に子どもたちに言い伝えてきたんだろうと思うんです。その子どもさんが大きくなって、町に恩返しをしたい。自分たちは——例えば芦屋町なら芦屋町の中で育てられたんだという、その感謝を、思いを持って恩返しをしたいということで帰郷されて、町のためにそこで就職をなさったり、また近隣で就職をして町の発展に寄与しておられるという、若い青年の実話があつておりました。私は最も大事なことはないかと、このように思うわけですね。

そこで、町を支えていく人材発掘と育成は最も大切なことではあります、次世代を担う子どもたちにこそ芦屋町の中で育て、育まれてきたからこそ、現在の自分があるんだと、物心ともに誇りに思えるような独自性ある政策も時として必要ではないかと思っておりますが、町長、いかがでしょうか。

○議長 横尾 武志君

町長。

○町長 波多野茂丸君

ナイター設備のことにに関して子どもたちを育てるという観点からお答えしたらいいのかと思うわけですが、関連しておるわけでございますね。

この総合運動公園の中央グラウンドにナイター設備をという要望があるということでございますが、先ほど課長もお話ししましたように、私の手元に、いわゆる町長の手紙等々いろいろ来るわけですが、私もその要望があったという記憶はないわけでありまして。そしてまた、この件につきましては、やはりナイター設備してほしいという声は確かに野球、サッカーをしておる少年たち、そしてまた、あと、今、壮年の還暦野球とかいって、そういうチームの方が希望されておるんであると思うわけでありまして。一面、やめてくれと、いわゆる治安が悪くなる、うるさい、ごみが散らかる等々、そういうような町民の声もまた、あるのも事実であるわけでありまして。

果たして、芦屋町、今、芦屋中学校にナイター設備はあるわけですが、芦屋中学校の中学校にナイター設備をするのがいいのか、総合運動公園にナイター設備をするのがいいのか、という話になろうかと思うわけでありまして。今、芦屋中学校のナイター施設というのは、まだ、何というか、寿命というか、まだ、取りかえ時期に来ておりません。万が一、総合グラウンドにナイター設備をとする計画が持ち上がるとするならば、その時期かなと思っておるわけでありまして。

それと、今、課長も言ったように、今電気代だけで100万から130万、恐らく総合運動公園にしますとその倍ぐらいかかるのではないかというような試算が出ておるわけでありまして。財源の問題もあります。

片方、今、議員言われたように子どもを育てなければ——芦屋の子どもは芦屋で育てるというスローガンのもと、いろんな分野でいろんな施設を整えてあげたいわけですが、皆さんを満足できる状況ではないということが1点。

昨日、芦屋ジュニアスイミングクラブの卒団式に行っていました。三十数名の子どもたち。その中で談話する中で、町長ぜひプールをつくっていただきたい。室内プールをつくっていただきたい、というような要望等々もありました。

そういうふうで、要望というのはもう限りなくあるものでございまして、その中で優先度合い、それから経費等々ランニングコスト等々をかんがみまして、すぐとは言いませんけど、そういうような時期が来ましたら、そういう余裕が出てきましたら少しずつ要望にこたえていきたいなと思っておるわけでございます。

以上でございます。

○議長 横尾 武志君

益田議員。

○議員 1番 益田美恵子君

立派なものを設置するとなれば、相当の費用もかかるかと思しますので、簡易的なもの、また、毎日使わなくても限定して冬場であっても週に2回とか、何かいろんな方法はあるかと思しますので、この辺はひとつの検討課題としていただければなど、このように思っております。あれだけの大きな設備をすれば相当な費用がかかるということはわかっておりますので、父兄の方々はあんな大きいのでなくてもいいんですって、小さな簡易的なものでもかまいませんが、自分たちのやっているものではもう本当に暗いからっていうご要望でございますので、検討課題としていただきたいとこのように思っております。これ以上、追求いたしましても出るわけでもございませんので、町長の競艇場の売り上げをしっかりと私たちも頑張りまして、いいものが皆さんに提供できるように頑張っていきたいなど、このように思っております。

続きまして、2点目のAEDについてでございますが、先ほど不具合もあり、現在ではきちっと対応されて異常がないということでございますが、2年ごとの講習を職員に対してはやっておられるということですが、各施設の公民館とか、ほかの施設にあるところもきちっとその講習を受けておられるのかどうか、よろしく願いいたします。

○議長 横尾 武志君

総務課長。

○総務課長 占部 義和君

はい。町費の関連でAEDを置いております20カ所、これにつきましては職員が常駐しておられるところ、臨時職員なり嘱託員の方々がおられる施設、いろいろあります。職員だけに限らず、そういった嘱託員、臨時職員の方々に対しましても職員と同じような研修を受けていただいております。

以上です。

○議長 横尾 武志君

益田議員。

○議員 1番 益田美恵子君

命を守るためのものがございますので、やはり何かがあれば一刻を争う機械に不具合あってはならないということでの報道もあっておりました。救急車の中で使用しようと思ったときに、それが利用できなかったという、大きな課題点を残したようでございます。それで、現在までそういった利用のないことが一番望ましいことではありますが、設置された後に現在まで利用されたケースがあるのかどうか、お尋ねいたします。



○議長 横尾 武志君

総務課長。

○総務課長 占部 義和君

私、現場を見ておりませんが、過去三、四カ月前に競艇場でお一人の方が倒れられてこのAEDを使って、当然救急車呼ぶわけですけど、それまでにこのAEDを使用して一命をとりとめたというか、そういう事例があります。

それと、一昨年夏、レジャープールでこれを使おうという事態にまで至ったんですけど、幸いなことにまず、AEDを使う前に人工呼吸をやります。この人工呼吸で回復されて、レジャープールではAEDの使用がなかったと、そのような報告は受けております。

以上です。

○議長 横尾 武志君

益田議員。

○議員 1番 益田美恵子君

それで、このAEDの問題は大事な問題でございますので、しっかり点検もやっていただいて、また、町民の皆様も随時練習ができるような、そういった場所も提供していただければありがたいなと思っております。

この2点につきましては、いろいろと問題点も――2のほうは問題ございませんが、1のほうは課題として残させていただいて、よろしくご検討のほどお願いいたします。

これで終わります。

○議長 横尾 武志君

以上で、益田議員の一般質問は終わりました。